

「お薬手帳をおもちですか？」

みなさん、調剤薬局に行くといつもきかれることと思います。

「いつもの薬だし、わかっているからいらないよ。」

「忘れてばかりだから手帳はいらないよ。」

という声が今も聞かれます。

今回はお薬手帳が自分を守る大事なものだということをお話ししたいと思います。



- ①なぜお薬手帳ができたのか？
- ②なぜお薬手帳を持ち歩くのか？
- ③なぜ薬が変わらないのに毎回提示しないといけないのか？
- ④各医療機関で手帳を別々に管理してはいけないのか？
- ⑤お薬手帳の活用法は？
- ⑥使い終わったお薬手帳はどうするの？

①なぜお薬手帳はできたのか？

きっかけは 1995 年の「ソリブジン事件」がきっかけです。

ある抗がん剤を服用中の患者様が、抗がん剤の服用により免疫力低下から带状疱疹になったとき、他医療機関より治療薬として当時新薬だったソリブジン（現在販売停止）を服用し、15 人が亡くなった事件がきっかけとなりました。

②なぜお薬手帳を持ち歩くのか？

災害、体調不良はいつ起こるかわかりません。常に持ち歩くことで不測の事態に対応できます。体調不良時話せない状態でも、手帳の記録を見ることで持病がわかれば、その後の処置・対応にも役立ちます。

実際 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の時、お薬手帳がある方は診察・お薬をもらうまでがスムーズだったという報道がありました。

③なぜ薬が変わらないのに毎回提示しないといけないのか？

同じ薬をどれくらい飲んでいったのか？ということが重要になる場合があります。また、記入がない期間は薬を飲んでいなかったと誤解されてしまう場合があります。

クリニック・病院の中で薬をもらう際、手帳にお薬の内容を記載してもらえないことがあるかと思いますが、必ずお薬手帳は提示してください。また、手帳に記載してもらえ

ない場合は、ぜひお薬手帳にお薬の内容がわかる用紙等を挟んでお知らせください。

④各医療機関で手帳を別々に管理してはいけないのか？

手帳は一人1冊で管理しましょう。

患者様の中には

「ほかの医療機関でも薬をもらっているなんて先生に悪いから手帳は別がいい」

「医療機関ごとに手帳をまとめたほうがきれいでしょ？」

と言われる方がいらっしゃいます。手帳は医療機関の先生のためにもっているものではありません。手帳を持っている患者様自身を守るためのものです。飲み合わせに問題ない、必要な薬を必要な量だけ服用・使用できるように手帳は必ず1冊にまとめましょう。

⑤お薬手帳の活用法は？

・次回診察時に聞きたいことのメモとしても活用ください。診察時言い忘れた！をなくすためにぜひ！

・この薬は合わなかった。あの薬はとてもよく効いた。あの薬残っているから次はいらぬ。と書き込みをしてもらってもいいです。

・診察時に聞いたこと指導されたことをメモしておくのもオススメです。

・診察時の血圧、眼科なら眼圧等の検査値を記載してもいいと思います。

⑥使い終わったお薬手帳はどうするの？

しばらくは前のお薬手帳も一緒に持っていてください。

複数の医療機関にかかっている場合、「あの病院の薬は、前の手帳にしか載っていない。」ということもあります。なので、しばらくは家に保管しておくようにしましょう。

さくら薬局碧南日進店